

重要：このクイックリファレンスガイド (QRG) では、超音波内視鏡 EB-710US を正しくリプロセスするために必要な手順の概要を説明します。
詳しい手順は取扱説明書 (洗浄 / 消毒 / 滅菌編) を参照してください。
ご使用の気密テスターのロット番号に応じて適切な手順を行ってください。



参照：
第 5 章

▶ 5.4.3 および 5.4.4



警告：リプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。



気密不良状態が発見された内視鏡を気密不良状態のまま水や薬液に浸漬しないでください。内視鏡が故障するおそれがあります。

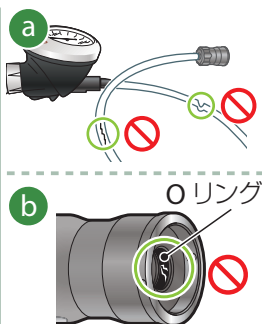
A. 気密テスターの点検・取り付けを行う

5.4.3
および
5.4.4



ロット
番号

気密テスターのロット番号を確認します。
2202 以前の場合：
裏面に記載の手順を行います。
2203 以降の場合：
a に進みます。



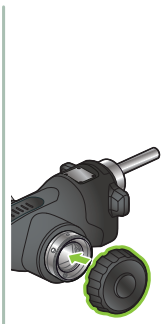
以下を確認します：

- a チューブに折れ、曲がり、キズ等の異常がないこと、チューブ内に水分がないこと
- b コネクター内の O リングにキズ等の異常がないこと、コネクター内に水分がないこと



20kPa まで加圧し、待機
30 秒

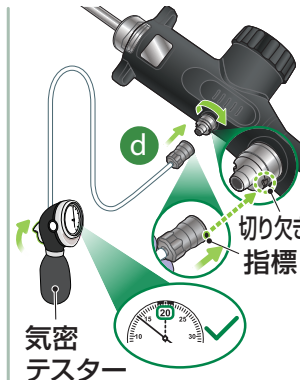
- c トリガーを加圧側に押し込みます。
- 送気球を握り、メーターの指針が 20kPa になるまで空気を送ります。
- 30 秒間待ち、圧力の変化が 5kPa 未満であることを確認します。



(取り付けられていない場合は) 防水キャップを取り付けます。



(取り外されていない場合は) すべての着脱可能な部品を取り外します。



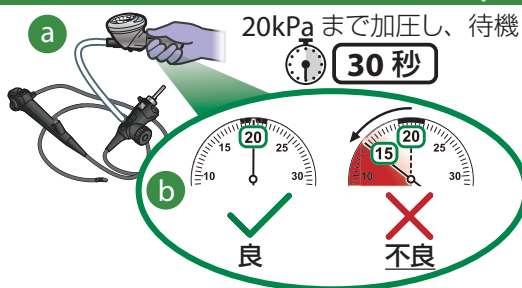
- d 気密テスターを (通気コネクターに) 接続します。
- メーターの指針が下がることを確認します。

B. 空気中で気密テストを行う

5.4.4
(6)~(8)

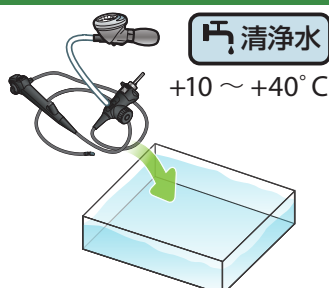
C. 水中で気密テストを行う

5.4.4
(9), (10)



- a 送気球を握り、20kPa になるまで空気を送ります。30 秒間待ちます。
- b メーターの指針の変化を確認します。

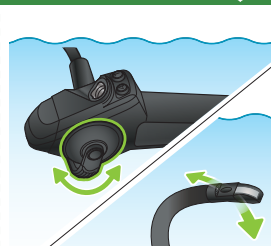
圧力が 15kPa 以下の場合は、内視鏡の気密不良です。



- a 20kPa に加圧した内視鏡を清浄水に完全に浸漬します。



- b 20kPa に加圧したまま、少なくとも 60 秒間浸漬します。



- c わん曲部をさまざまな方向に動かします。

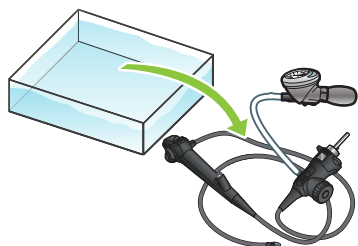
清浄水に浸漬している内視鏡から、連続して気泡が出る場合は気密不良です。

D. 内視鏡を取り出す

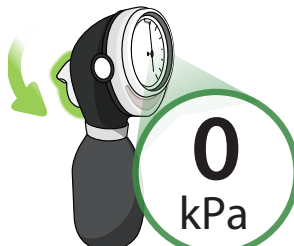
5.4.4
(11)

E. 気密テスターを取り外す

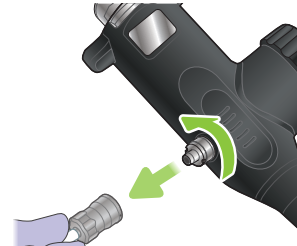
5.4.4
(12), (13)



気密テスターを取り付けたまま内視鏡を取り出し、平らな場所に置きます。



トリガーを解放側に押し、空気を排出します。



気密テスターを取り外します。

2/2 超音波内視鏡 EB-710US 気密テスト

気密テスター：
ロット番号 2202 以前

FUJIFILM
www.fujifilm.com

重要：このクイックリファレンスガイド (QRG) では、超音波内視鏡 EB-710US を正しくリブプロセスするために必要な手順の概要を説明します。
詳しい手順は取扱説明書 (洗浄 / 消毒 / 滅菌編) を参照してください。
ご使用の気密テスターのロット番号に応じて適切な手順を行ってください。



参照：
第 5 章

▶ 5.4.3 および 5.4.4



警告：リブプロセスを行う場合は、適切な保護具を着用してください。保護具の着用が不適切な場合、感染の原因となるおそれがあります。



気密不良状態が発見された内視鏡を気密不良状態のまま水や薬液に浸漬しないでください。内視鏡が故障するおそれがあります。

A. 気密テスターの点検を行う 5.4.3



以下を確認します：

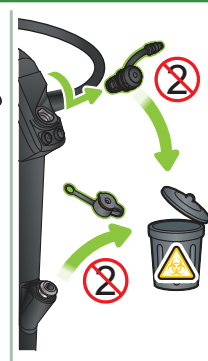
- a チューブに折れ、曲がり、キズ等の異常がないこと
- b コネクター内の O リングにキズ等の異常がないこと、コネクター内に水分がないこと
- c トリガーを加圧側に押し送気球を握ると、コネクターから空気が出ること、メーターの指針が上がること
- d チューブ内に水分がないこと、チューブから水分が流れ出ないこと

気密テスターのロット番号を確認します。
2202 以前の場合：
a に進みます。
2203 以降の場合：
裏面に記載の手順を行います。

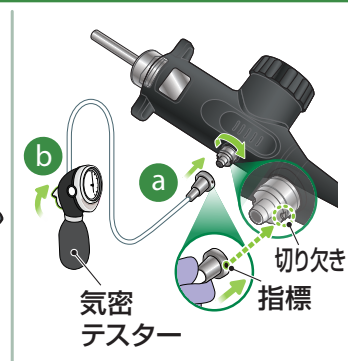
B. 気密テスターを取り付ける 5.4.4 (1)~(5)



(取り付けられていない場合は) 防水キャップを取り付けます。



(取り外されていない場合は) すべての着脱可能な部品を取り外します。



a 気密テスターを (通気コネクターに) 接続します。
b トリガーを加圧側に押し込みます。

C. 空気中で気密テストを行う 5.4.4 (6)~(8)

D. 水中で気密テストを行う 5.4.4 (9), (10)

a 送気球を握り、20kPa まで加圧し、待機 **30 秒**

b メーターの指針の変化を確認します。

圧力が **15kPa 以下** の場合は、内視鏡の気密不良です。

清浄水 +10 ~ +40°C

a 20kPa に加圧した内視鏡を清浄水に完全に浸漬します。

加圧状態を維持する **60 秒**

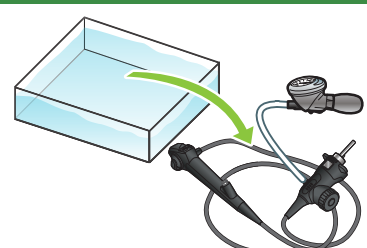
b 20kPa に加圧したまま、少なくとも **60 秒間** 浸漬します。

c わん曲部をさまざまな方向に動かします。

清浄水に浸漬している内視鏡から、連続して気泡が出る場合は気密不良です。

E. 内視鏡を取り出す 5.4.4 (11)

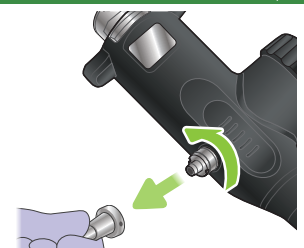
F. 気密テスターを取り外す 5.4.4 (12), (13)



気密テスターを取り付けたまま内視鏡を取り出し、平らな場所に置きます。



トリガーを解放側に押し、空気を排出します。



気密テスターを取り外します。